

## 私のロータリー活動から考えてみたこと

今回職業奉仕物語の作文作成にあたり、何を題材にしようかと思いましたが、今年度取り組んだ活動よりロータリーの事を考えてみようと思います。

1点目、社会奉仕活動の中で「2800地区内(最上川)一斉清掃」を行いました。今年度の小松栄一ガバナー提唱「良いことをしよう、地域や世界の自然と未来を守るために」に基づき、当天童東クラブで相談の結果「クラブ単独・舞鶴山の愛宕沼周辺一斉清掃」を行いました。この活動はもちろん社会奉仕活動なのですが、職業奉仕に繋がる所もあり作文としました。

当日は朝6:00からというイレギュラーな時間からの移動例会となりましたが、いつもの例会より少しだけ少ない程度の人数の集まり。準備物も幹事としてそんなに指定はしていないのですが、各職業の方が色々考え、掃除出来る物を持ち寄り、清掃となりました。当天童東クラブも年配の方が多くなり、朝が得意という事もあるかもしれませんが、朝とは思えない位エネルギーに活動出来ました。これは私個人の考えですが、イレギュラー、非日常の活動を通して、自分のテンション、気分を上げ日々の仕事に努める。職業毎の考えを持ち各人の考えを尊重し活動する。今回は朝の掃除というすごく小さな事かもしれませんが、職業奉仕の考えと重なる所が多く書かせて頂きました。

2点目、親睦委員会活動の中で当地区天童の3クラブが集まる芋煮会が行われました。当天童東クラブはホストクラブになりましたので、何かしらのおもてなしが必要となりました。お金をたくさんかけて、予算を削り、良い物を頼む、これは当たり前なのですが、ハッキリお金もそんなにかけたくない、予算も削りたくない、でも良いおもてなしはしたい。そんな事を親睦委員会で真剣に考え、結局行ったおもてなしは①エプロン姿で皆さんをお出迎えする。②芋煮を各ゲスト会員に手渡しで渡す、という物でした。ゲストの皆さんからも笑顔のお返しを受け、自己満足かもしれませんが、「余りお金をかけずに、お客様を満足させる」事に成功したように考えます。

これからも良いことを考え、また考えなくとも行動出来るよう、笑顔が増えるよう、努めていきたいと思います。